

平成23年10月吉日

各 位

一般社団法人
人材育成と教育サービス協議会
代表理事 細谷 僚一

専修学校等の質保証に関する専門的な人材養成プログラム試案

試験運用へのご参加のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、弊社では、平成23年度文部科学省委託事業「専修学校等の質保証に関する専門的な人材の養成方策についての調査研究」を受託し、本事業の一環として、10月30日（日）及び31日（月）の2日間、専修学校関係者を対象とした、専修学校等における教育の質保証に内部から取り組む専門的な人材の養成プログラム試案の試験運用を下記のとおり実施する運びとなりました。

つきましては、本プログラム試案の実施要項（予定）については別添1、会場については別添2、本事業の概要については別添3をご参照いただき、本プログラム試案の試験運用へのご参加をご検討くださいますようお願い申し上げます。

また、ご参加いただける方におかれましては、お手数ではございますが、別添4「受講申込書」に必要事項を記入して、ご提出くださいますよう併せてお願い申し上げます。

敬具

記

1. 期 間 平成23年10月30日（日）・31日（月）の2日間

$$\left[\begin{array}{l} 1 \text{ 日目 } 12:30 \sim 18:40 \\ 2 \text{ 日目 } 9:00 \sim 17:10 \text{ (昼休み:60分)} \end{array} \right]$$

 ※ 部分参加、日程途中からの参加又は参加者変更はご遠慮ください。
 ※ 両日の開始・終了時間が変更になる場合がございます。
2. 会 場 株式会社 内田洋行 新川オフィス 地下1階
 （東京都中央区新川2-4-7）
 ※会場の地図につきましては、別添2をご参照ください。
3. 対 象 専修学校等における学校運営、教育指導や課程の編成等の実務経験を有しているが、質保証の取組に関する知識等が不足している方（定員：30名）

4. 目 的 専修学校等の教育の質保証・向上に関する取組を強化するため、専修学校等において実務経験を有している人材等が、教育の質保証のための知識や方法等を身に付け、専修学校の内部からその教育の質を保証・向上できる専門的な人材を養成することを目的とします。
5. 内 容 講義とグループワークを中心としたオムニバス形式のプログラム内容となります。各講座の最後には、受講者の理解を確認するために「小テスト（5分）」と「ふりかえり（5分）」を実施し、全講座の後に「確認テスト」を実施いたします。全体カリキュラム（予定）につきましては、別添1をご参照ください。
6. 受 講 料 無料（交通費及び昼食については、各自ご負担ください。）
7. お申込み 別添4「受講申込書」をご参照ください。
お申込みは、原則1組織につき2名までとしますが、受講希望者が定員に満たなかった場合は、1組織あたり3名以上に受講して頂くことが可能ですので、下記の担当者まで予めお問合せください。
8. お問合せ 一般社団法人 人材育成と教育サービス協議会（JAMOTE）
事務局 麻野・中村
電 話：03（3552）5401
メール：jinzai2@jamote.jp

以上

平成 23 年 10 月 吉日

文部科学省 平成 23 年度委託事業
「専修学校等の質保証に関する専門的な人材の養成方策についての調査研究」
人材養成プログラム試案 B 試験運用の実施要項

一般社団法人
人材育成と教育サービス協議会

1. 目的

専修学校等の教育の質保証・向上に関する取組を強化するため、専修学校等において実務経験を有している人材等が、教育の質保証のための知識や方法等を身に付け、専修学校の内部からその教育の質を保証・向上できる専門的な人材を養成することを目的とします。

2. 日程

講義とグループワークを中心としたオムニバス形式のプログラム内容となります。修了要件にも関わりますので、全日程を通じての参加をお願いします。部分参加及び日程途中からの参加又は参加者変更はご遠慮ください。

第 1 日目 平成 23 年 10 月 30 日（日）12：30～18：40

第 2 日目 平成 23 年 10 月 31 日（月）9：00～17：10（昼休み：60 分）

※ 昼食は各自ご用意ください。

3. 修了要件

2 日間の全講座を履修し、最終日に実施する「確認テスト」の正解率が 60%以上であることを修了要件といたします。なお、確認テストには教材やノート等の資料を持ち込むことはできません。

上記の修了要件を満たし、人材養成プログラム試案 B の修了が認められる受講者に対しては「専修学校等の質保証に関する専門的な人材の養成プログラム試案 B 試験運用 修了証(仮称)」を弊社より授与します。

4. 場所

株式会社 内田洋行 地下 1 階

・ 住所 東京都中央区新川 2-4-7

・ 地図 <http://www.uchida.co.jp/company/showroom/canvas.html>

5. 講師

当該専門分野において実務経験を有する方が講師となります。

- ・ 専修学校を運営する者又はこれに準ずる者
- ・ 国際的な非公式教育の質保証の取組に関する専門家
- ・ 大学の質保証の専門家

6. 定員

30 名程度

7. 受講資格

専修学校等における学校運営、教育指導や課程の編成等の実務経験を有しているが、質保証の取組に関する知識等が不足している者を対象とする。

8. 受講料

無料（交通費、宿泊費及び食費は各自ご負担ください。）

9. その他

- ・ 10 月 31 日（月）の 8 講「教育の質保証に関するワークショップ」でのグループ討議には、受講者の所属機関において取り組まれている授業評価及び講師評価で使われている評価フォーム（様式）が必要となりますので、必ずご持参ください。（ご持参頂いた評価フォーム（様式）を他受講者に配布することはありません。）
- ・ 各講座の後に、受講者には小テストを受けて頂きます。この小テストでは当該講座の内容について出題されます。（教材及びノートを持ち込み可）
- ・ 小テストの後に、「ふりかえり用紙」に当該講座での学びについて記述して頂きます。
- ・ 本プログラムは試案です。本プログラムで知り得た情報及び教材等は、本プログラム受講以外の目的に使用されませんようお願いいたします。

10. 全体カリキュラム（予定）

1 日目（10/30）	2 日目（10/31）
【オリエンテーション】12:30～12:55 本事業の概要、人材養成プログラム試案及びその試験運用（カリキュラム等）	【5 講】9:00～10:30 教育評価の動向及び多様性
【1 講】12:55～13:40 専修学校等の制度・教育の特性及び現状 全国専修学校各種学校総連合会 事務局長 菊田 薫 氏 ＜概要＞ 専修学校の制度、現状及び課題に関する最新の情報 等 ＜小テスト（5 分）&ふりかえり（5 分）＞	国立大学法人 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授 大塚 雄作 氏 ＜概要＞ 大学評価システム改革の方向性、質保証システムの概要、内部質保証、学習成果重視の動向、大学教育評価の課題 等 教育における相互性・創発性、大学評価の原則再考、定量的評価と定性的評価、評価情報収集の要点、「学習共同体」形成のための評価 等 ＜小テスト（5 分）&ふりかえり（5 分）＞
【2 講】13:50～15:20 内部評価*に関わる人材の責務と義務 国立大学法人 千葉大学 普遍教育センター 教授 前田 早苗 氏 ＜概要＞ 内部評価のための基礎知識（内部評価とは、内部評価の目的、自己点検・評価の重要性、内部評価のプロセス、内部評価の対象領域 等） 内部評価員の責務（根拠資料、内部評価における留意点、評価者倫理、教育機関の内部評価の特色と課題 等） ＜小テスト（5 分）&ふりかえり（5 分）＞	【6 講】10:40～12:10 専修学校における自己点検・評価の取組事例 学校法人 小山羊園 専門学校東京テクニカルカレッジ 教務部長 高瀬 恵悟 氏 ＜概要＞ 専修学校が実際に取組んでいる自己点検・評価の具体例の紹介 ＜小テスト（5 分）&ふりかえり（5 分）＞
昼食（60 分）	
【3 講】15:30～17:00 学校経営・財務の健全化に関する知識 学校法人 京都学園 理事長 西井 泰彦 氏 ＜概要＞ 学校法人制度の概要、私立学校のガバナンスと経営課題、大学基準、質保証と私立大学政策の転換、専修学校等における主要な事業活動と評価、中長期戦略ビジョン例、組織図例、私立学校法 等 管理運営等に関するチェック事項、専修学校の財務構造と財務比率、5 ヶ年連続消費収支計算書・貸借対照表、経営困難の判定項目、優れた経営改革例、優れた学校改革に見られる共通の特徴 等 ＜小テスト（5 分）&ふりかえり（5 分）＞	【7 講】13:10～16:10 教育の質保証に関するワークショップ 中央カレッジグループ 経営企画本部 教育開発研究所 主任研究員 八木 信幸 氏 ＜概要＞ 専修学校等に適した自己点検・評価のあり方についてグループ討議を行う。 受講者が持ち寄る自らの授業評価及フォーム（様式）及び講師評価フォーム（様式）をもとに、適切な点検・評価項目の設定や方法、体制についてグループ討議を行う。 等 ＜ふりかえり（5 分）＞
【4 講】17:10～18:40 国内外における教育訓練の質保証の概要 ISO/TC232 国内審議委員会 委員長 宮澤 賀津雄 氏 ＜概要＞ 諸外国における教育の質保証の取組、ユネスコ・WTO・ISO の動向、国内の動向 等 ＜小テスト（5 分）&ふりかえり（5 分）＞	【確認テスト】16:20～17:10 学習成果を評価するためのテストを実施 ＜アンケート（10 分）＞

※ このカリキュラムは試案の段階ですので、講座内容が多少変更される場合がございます。
 予めご了承ください。

以上

【会場】株式会社 内田洋行 新川オフィス 地下1階

<住所：東京都中央区新川 2-4-7>

【地図】



URL : www.uchida.co.jp/company/showroom/canvas.html

【アクセス】（お車でのご来館はご遠慮ください。）

◆地下鉄をご利用の場合

- ・ 東京メトロ 日比谷線「八丁堀駅」下車、「A4」出口より徒歩4分
- ・ 東京メトロ 日比谷線・東西線「茅場町駅」下車、「1番」出口より徒歩5分
- ・ JR 京葉線「八丁堀駅」下車、「B1」出口より徒歩5分

◆東京駅よりバスをご利用の場合

東京駅八重洲南口より「東 15 系統」もしくは「東 16 系統」で「深川車庫」、「豊洲駅」、「住友ツインビル」行きで4つめの停留所「新川」（内田洋行本社前とアナウンス有り）で下車 徒歩1分

【お問合せ】会場に関するお問合せは下記までお願いいたします。

一般社団法人 人材育成と教育サービス協議会（担当 麻野・中村）

TEL : 03-3552-5401

FAX : 03-3552-5402

Email : jinzai2@jamote.jp

以上

文部科学省 平成 23 年度委託事業
「専修学校等の質保証に関する専門的な人材の養成方策についての調査研究」事業概要

1. 受託機関

一般社団法人人材育成と教育サービス協議会（JAMOTE）

2. 事業の目的

経済状況の変化及びグローバル化、就労に対する価値観の多様化、加えて少子化等、専修学校を取り巻く環境が大きく変わるなか、我が国における専修学校の重要性は再認識されている。しかしながら、この様な大転換期には更なる信頼性の向上が求められ、特に教育の質の確保と向上に向けた取組は不可避である。

専修学校等の教育の質保証・向上に関する取組を強化するためには、専修学校やその他の専修学校教育に密接に関連する産業界や企業において実務経験を有している人材が、教育の質保証のための知識や方法等を身に付け、専修学校の外部又は内部からその教育の質を保証・向上できるように、専門的な人材を養成する。

3. 事業内容

（ア）専修学校等の質保証に関する専門的な人材の養成プログラムの試案及び当該プログラムで用いる教材の試案開発

専修学校等の組織運営及び教育を行う体制や仕組みについての質保証に関する専門的な人材を養成するためのプログラム（以下「人材養成プログラム」という。）の試案及び当該プログラムで用いる教材の試案を開発する。

人材養成プログラムの対象となるグループを特定し、その属性や既に持っている関連知識等に鑑みながら、下記のとおり人材養成プログラム試案を「人材養成プログラム試案 A (A-1 及び A-2)」と「人材養成プログラム試案 B」に分けて開発する。

①人材養成プログラム試案 A：専修学校等を外部評価する人材

試案 A-1) 教育事業者の質保証についての知識等を有しているが、専修学校等に関する知識が不足している者を対象とする。

試案 A-2) 専修学校等における学校運営、教育指導や課程の編成当の実務経験を有しているが、質保証の取組に関する知識等が不足している者を対象とする。

②人材養成プログラム試案 B：専修学校等において質保証に取り組む中心人材

（イ）人材養成プログラム試案等の試験運用

上記（ア）で開発した人材養成プログラム試案及び当該プログラムで用いる教材の試案について試験運用を行う。

（ウ）人材養成プログラムの開発

上記（イ）での試験運用の結果を踏まえ、上記（ア）で開発した人材養成プログラム試案及び当該プログラムで用いる教材に対して改善を加え、開発を行う。

（エ）開発した人材養成プログラム等に関する意見交換

上記（ウ）で開発した人材養成プログラム等の内容を専修学校等の関係者に説明し、それについての意見交換を行う。併せて、専修学校等に関する質保証の取組が求められる状況等についても専修学校等の関係者に十分な理解を促す。この意見交換は、東京で 1 回、大阪で 1 回行う予定。

（オ）人材養成プログラム開発のための参考情報の収集

人材養成プログラム開発の参考となる国内外の情報を収集する。情報収集に当たっては、WEB や文献等からの情報に加え、これまで直接携わってきた ISO29990 及びその認証スキーム開発や教育の質保証に関連する国際シンポジウム・カンファレンス等で得た情報や国内外の人的ネットワークを最大限活用する。